

## 図解がもっと 楽しくなりました。

— 図で伝えることを工夫して  
伝わりやすさを追求する —

社内システムの管理や中小企業診断士の活動をする中で、  
図解によるコミュニケーションを行っている日景さん。  
そのサポートツールとして選んでいただいたのはCamiApp Sでした。  
図解とCamiApp Sがどのようにマッチしているのか、  
日々の活用方法についてうかがいました。



CamiApp S  
メモパッドタイプ Android™版  
(NST-CAS-PA5)を使用中!



日景 聡 氏 Satoshi Hikage

マスコミ業界勤務。社内情報システムの企画・管理を担当している。さらに中小企業診断士としても活動しており、創業支援や企業診断のほか、研究会活動にも参加。CamiApp Sはメモパッド(Android™版)を使用。図解ツールとして活用している。

### 【CamiApp Sを購入した理由】

絵や図を気軽に描いてデータ化できる  
ツールがほしいと思っていました

もともと図はほとんど描かず、文章をスマホやタブレットに打ち込んでいました。そんななか、参加した図解勉強会で、「言葉で説明するよりも図で示す。上手でなくてもいいから描く練習をしましょう」というお話があったんです。図で描いたほうが相手に伝わりやすく、いいなと思いました。そこで、図解する癖をつけるには、どうしたらいいだろうと…。いつでも図を描けるように、普段持ち歩いているスマホやタブレットで試してみましたが、描きづらくてやめてしまいました。でも、絵や図を簡単に描けて、さらにいつでも見返せるようにパソコンにデータとして集めておけるツールがあればいいなと思っていました。

購入の決め手は  
「ここまで使えるんだ」という納得感

CamiApp Sのことは知っていましたが、かさばるし、値段的にも結構するので、自分はいいかなと思っていました。そんな中、セミナーでCamiApp Sを使われている方と同じテーブルになって。その方がすごくキレイにメモを書いていて、「これが全部読まれるよ」ってスマホを見せてくれたんです。これはすごい! とショックを受けて、その場で

買ってしまいました(笑)。実際に活用されてる方に使い方をいろいろ聞いて、本当に簡単にできるということが分かったのと、ここまで使えるんだ! これはすごいな! という実感ができたことが決め手ですね。

### 【活用方法】

図解ツールとして日々活用  
「使い方を工夫すると楽しいです」

どんな場面で使っているかという、本当に全部図解のためのメモとして使っています。テレビを見ながら番組で紹介されている企業のビジネスモデルを図解したり、電車の中で検討事項をうまく説明するための下書きをしたり。あと、プレゼンの絵コンテを書いたりもしています。今まではパソコン上で文章を書いて考えていたんですけど、絵を描きながらの方がまとまるなという印象です。

取り込んだデータは全てDropboxに保存しています。アクションマーカー(※)で自動的に保存されるように設定しているんです。今まで図は裏紙とかに描いて、そのまま捨てていました。後から見えそうな図も手元に残っていませんでした。CamiApp Sを使うとすべてデータ化して残しておくし、Dropboxからパソコンでも見返せますよね。

## 活用術 Voice 1 描く

図やイメージをさっと描くだけでデータ化



自動で Dropboxに保存

**POINT**  
描くだけでデータ化できる。スマホやタブレットに描くよりストレスがない!

## 活用術 Voice 2 保存する

メモは全て Dropboxに保存する

**POINT**  
アクションマーカーでデータ化と同時にDropboxにアップされるように設定。Dropboxを介してパソコンからもメモの確認ができる。



## 活用術 Voice 3 加工する

必要なメモに色づけ!

**POINT**  
パソコンのペイントでメモに色付け。強調したい単語だけテキストにして、後から見返しやすく。これこそ手書きとデータ化のハイブリッド!!



## 活用術 Voice 4 活用する

データ化したメモを活用!!

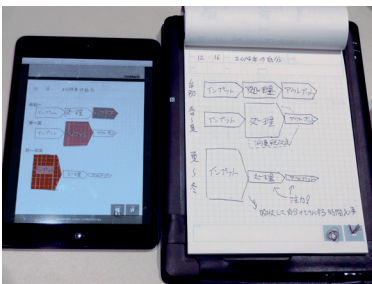


●打合せ資料として

●プレゼン資料として



特におすすめなのは、パソコンのペイントツールで手書きの図に色付けしたり、テキストを書き込んだりすることです。図解にメリハリがついて伝わりやすくなるんです。塗り絵の感覚ですね。こういう風に使い方を工夫すると楽しくなってきますよ。

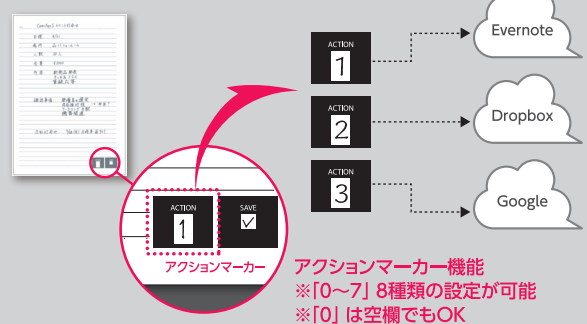


CamiApp Sで描いた図に色をつけたもの

強調したいところに色をつけておくと、人に伝えるときや自分で振り返るときに、ポイントがひと目でわかる。

### ※アクションマーカーとは?

ノートのACTIONボックスに0~7の数字を書いてワンチェックすると、予めアプリで設定していたアクションをデータ化と同時に行う。例えば、1は「Evernote」、2は「Dropbox」、3は「Googleドライブ」といったアクションを設定することができる。



### 【CamiApp Sでココが変わった】 「図で伝える」という選択肢が増えました

これまでは文章で伝えることがほとんどでしたが、CamiApp Sを使い始めたら、図解して説明するというパターンができました。長文の文章より、図解1枚のほうが伝わりやすく、周りの人もありがたがっているといます(笑)。相手に伝える方法の選択肢が増えましたね。図解することが楽しくなりました。

### 【今後への期待】 図解がもっと身近になるツールへ

さらに気軽に持ち歩いて、走り書きできるようになるといいですね。半分くらいのサイズでジャケットのポケットに入れていつでも持ち歩けるようになると、思いついたときにさっと図解ができて活用の幅が広がります。今後の展開に期待しています。